生活に ファイン クオリティ
sala

第14期報告書

平成26年12月１日から平成27年11月30日まで

株式会社 サーラコーポレーション

証券コード：2734

グループ基本理念

グループ基本理念

美しく快適な人間空間づくりを通し、
地域社会から信頼される企業グループとして、
豊かな社会の実現をめざします。

生活にファインクオリティ
sala

Space Art Living Amenity
(生活空間をより美しく快適に)

生活空間　信頼　豊か　快適　美しく

私たちは、お客さまの「生活空間」に対して「豊かさ」「快適さ」「美しさ」を提供します。
その提供を地域に根ざし信頼されている当社グループが行うことが使命だと考えています。

株主の皆さまへ

代表取締役社長
神　野　吾　郎

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社グループの第14期報告書（平成26年12月１日～平成27年11月30日）をお届けするにあたり、ごあいさつ申しあげます。

日本社会が成熟化の時代を迎え少子高齢化が進むなか、当社グループを取り巻く経営環境も刻々と変化をしています。当期は、皆さまのおかげで好調な業績を収めることができました。これからも、私たちが取り組む中期経営計画のテーマである“魅力あるグループへ”と成長するために、グループの総合力を活かし、環境の変化に柔軟に対応をしていかなければならないと認識しています。

当社グループは、エネルギーを中心に、暮らしやビジネスに最適な提案に取り組んできています。今後は総合提案力を一層強化して、お客さまの価値観やライフスタイルの変化に合わせ、お客さまが魅力を感じていただけるように成長していく必要があると考えています。

中期経営計画の最終年度となる第15期（平成28年11月期）は、より良いサービス、商品を提供するうえで基盤となるお客さまとの“つながり”を大切に、地域の皆さまの暮らしを支えるライフパートナーを目指し、グループ一体となって新たな魅力を創っていきます。その一環として、新たに平成28年４月より関連会社において電力小売事業に取り組んでまいります。また、法人のお客さまが抱える様々な課題に対して総合提案で応えることにより、地域企業のトータルサポーターとして貢献することを目指しています。

このような取組みを通じて、当社グループは、いつの時代にもお客さまの期待に応え、選ばれ続ける魅力あるグループとして成長していく所存です。株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年２月

代表取締役社長　神野吾郎

連結業績ハイライト

当期におけるわが国経済は、企業収益や所得に改善がみられるなど、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。

サーラコーポレーショングループを取り巻く環境につきましては、エネルギー事業では原油価格の大幅な下落に伴いLPガス、石油製品の仕入価格が大幅に低下し、これに対応した価格改定により販売価格は大きく低下しました。建設土木事業では受注面は堅調に推移したものの、労務費や原材料価格の上昇により、工事原価の増加が懸念される状況が続きました。輸入車販売市場では、平成27年９月に独フォルクスワーゲン社の排ガス不正問題が明らかになり、年度末にかけて日本のマーケットにも影響が拡がりました。

このような状況のなか、当社グループは「より魅力あるグループへ」をテーマに掲げた第５次中期経営計画（平成26年11月期～平成28年11月期）に基づき、これまで培ってきた事業基盤を活用し、既存の事業を発展させるとともに、これからの暮らしを創造する新たなサービスや事業の創出、育成に積極的に取り組んでいます。この一環として、当期におきましては、主に以下の施策に取り組みました。

・サーラグループにおけるエネルギー事業の共同化
　湖西、蒲郡両エリアにおいて、連結子会社のガステックサービス株式会社と、サーラグループの中部瓦斯株式会社との間で営業活動や、サービスの共同化を推進しました。
・サーラのリフォームのさらなる展開
　社内における認定資格制度の導入などにより、リフォームに精通した人材の育成を推進しました。
・宅配水事業の拡大
　「サーラの水株式会社」を軸に、サーラグループを挙げて販促活動に取り組んだことにより、お客さま数が前期比28.0％増の11,590件と着実に増加しました。
・輸入車販売における店舗数の拡充
　首都圏で３店舗目となる「フォルクスワーゲン多摩」を出店しました。また、「アウディ沼津」をリニューアルオープンし、革新的でスマートなブランドイメージの訴求を図りました。

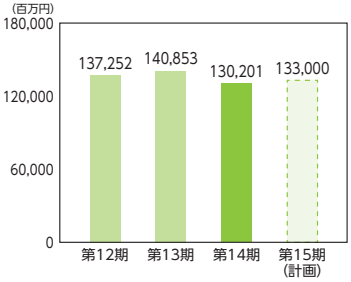
当期の業績につきましては、売上高は前期比7.6％減の130,201百万円となりました。利益面では、営業利益は前期比45.1％増の3,647百万円、経常利益は前期比35.3％増の3,937百万円と、いずれも過去最高を記録し、当期純利益は前期比35.6％増の1,928百万円と大幅に増加しました。

なお、事業セグメント別では、エネルギーサプライ＆ソリューション事業、エンジニアリング＆メンテナンス事業及びアニマルヘルスケア事業の３事業で、過去最高の営業利益をあげることができました。

売上高

130,201百万円
（前期比**7.6%減**）

２期ぶりの減収



営業利益

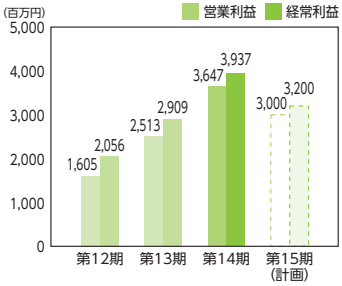
3,647百万円
（前期比**45.1%増**）

過去最高

経常利益

3,937百万円
（前期比**35.3%増**）

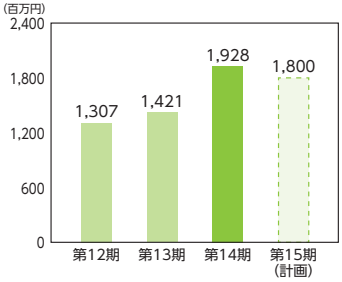
過去最高



当期純利益

1,928百万円
（前期比**35.6%増**）

６期連続の増益



配当について

当社は配当の基本方針として次のとおり定めています。

①連結配当性向30％を目途として配当を行います。

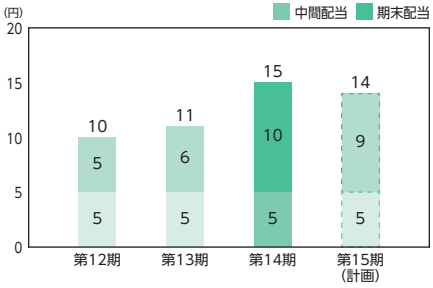
②最低年間配当金として１株につき年10円（中間・期末各５円）を維持します。

当期は上記の方針に基づき、期末配当金を10円とし、年間配当金を15円といたしました。また、次期は年間配当金14円を計画しています。

年間配当金

15円
（前期比**４円増**）

２期連続の増配



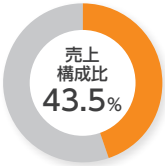
第15期計画

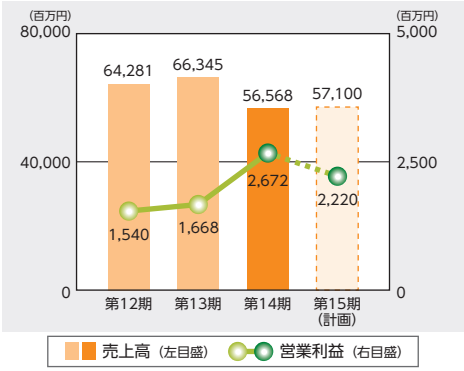
第15期（平成28年11月期）は、現在、当社グループが取り組む第５次中期経営計画の最終年度となります。各事業において、お客さまとのつながりの強化に引き続き取り組み、お客さま数を増加することにより増収を計画しています。利益面は、エネルギー事業における将来のお客さま基盤の強化に向けた、新たな料金割引制度の導入に伴う一時的なLPガス収益の圧縮や、輸入車販売事業における新店舗開設に伴う償却費の増加などを見込んだ計画となっています。

事業セグメント別の概況

エネルギーサプライ＆ソリューション事業

売 上 高	56,568百万円 （前期比 14.7%減）
営業利益	2,672百万円 （前期比 60.2%増）





ポイント

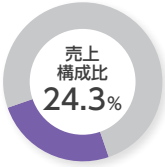
- ＬＰガスは冬期の平均気温が高めに推移したことから、家庭用の販売量が減少
- 仕入価格の下落を受けてＬＰガス、石油製品の販売価格が低下し、売上高は減少
- リフォーム商材の拡販、原料仕入の強化、ＬＰガス収益力の向上により、営業利益が大幅に増加

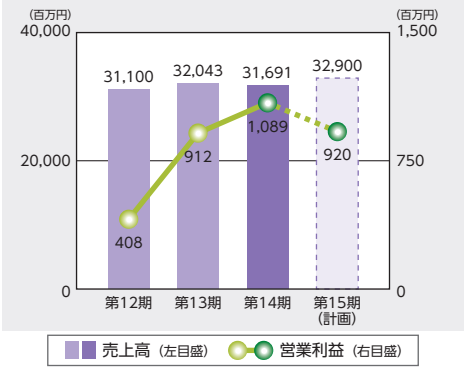
第15期の取組み

ＬＰガスのお客さま数の増加に取り組むとともに、サーラプラザ活用により、リフォーム、アカデミーといった生活サポートサービスの利用機会を増やし、地域におけるサーラのお客さま数の増加を図ります。また、お客さまに最適なエネルギー提案を行うとともに、省エネ、メンテナンスなど多様なニーズに応えるサービスの開発、提供に努めることにより、地域企業との関係を深め、収益を拡大するビジネスモデルを確立します。さらに、サーラグループの中部瓦斯株式会社との間で進めている営業活動や、サービスの共同化を推進し、地域におけるサーラグループのエネルギーシェアのアップを図るとともに、リフォームを中心とする総合的な生活提案を拡大することにより事業基盤の強化を図ります。

エンジニアリング＆メンテナンス事業

売 上 高	31,691百万円 （前期比 1.1%減）
営業利益	1,089百万円 （前期比 19.5%増）





ポイント

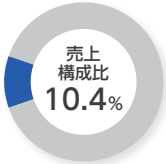
- 土木部門は大型の港湾工事の完成により堅調に推移
- 建築部門は完成工事が減少したため売上高は減少
- 収益を重視した受注や工程管理の徹底など利益率の改善により、営業利益は増加

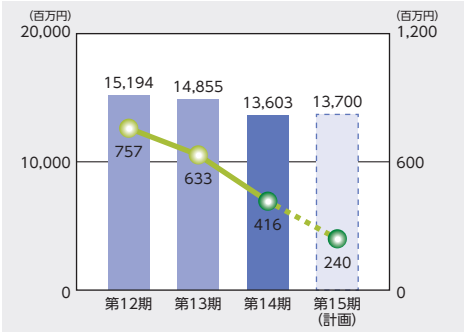
第15期の取組み

建築、設備、メンテナンスの各部門は、営業活動の強化と業務プロセスの改善に引き続き取り組むことにより受注競争力を高め、収益の拡大を図ります。土木部門は、グループ内連携により遠隔地における施工を可能にする広域事業体制を確立するとともに、リサイクルプラントの本格稼働に伴い環境商材の製造・販売を強化することにより事業を拡大します。また、保守契約、施設管理などストックビジネスを拡大することにより安定収益の確保に努めます。

カーライフサポート事業

売 上 高	13,603百万円 （前期比 8.4%減）
営業利益	416百万円 （前期比 34.3%減）





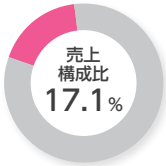
ポイント
- フォルクスワーゲンは、排ガス不正問題の影響により販売台数が減少
- 下取り車の減少により、中古車部門の販売台数が減少

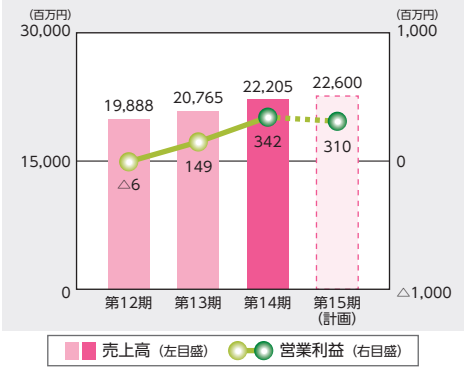
第15期の取組み

輸入車販売部門は、既存オーナーとの接点を強化し、フォルクスワーゲンブランドの信頼回復に努めます。また、店舗開発を通じた販売エリアの拡大並びにお客さま満足度向上による販売シェアのアップを図ります。整備部門は生産性の向上による利益率の改善と、既存オーナーへの営業活動を強化することにより、取扱台数の増加を実現します。

アニマルヘルスケア事業

売 上 高	22,205百万円 （前期比 6.9%増）
営業利益	342百万円 （前期比 129.5%増）





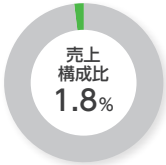
ポイント
- ペット関連分野は、動物用医薬品の販売が好調
- 畜産分野は養豚・養牛関連の医薬品や畜舎の機械・器具類の販売が上向く

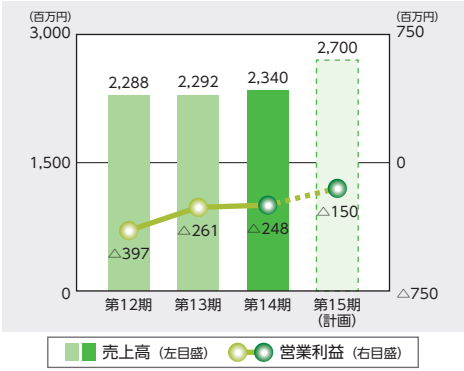
第15期の取組み

地域の事業環境に適した営業活動に取り組むとともに、お客さまが抱える様々な課題に対して最適なソリューションを提供し、事業を拡大します。また、動物病院や農場におけるセミナーを開催し、お客さま満足度の向上に取り組むとともに、モバイルデバイスの導入によるマネジメント強化並びに営業効率の改善により、収益力向上を図ります。

ホスピタリティ事業

売 上 高	2,340百万円 （前期比 2.1%増）
営業利益	△248百万円 （前期は営業利益△261百万円）





ポイント
- 宿泊部門は利用スタイルに合わせた宿泊プランの販売強化により、客室稼働率が上昇
- ブライダル部門では、挙式組数は前期並みを維持

第15期の取組み

ホテルアークリッシュ豊橋は、今後のブライダル市場の変化を見据えて、宿泊や宴会部門を強化することにより、収益構造の改革に取り組みます。また、外食部門を含む各部門においてお客さまの満足度を高める商品、サービスを提供するとともに、販促活動の強化並びにコスト管理の徹底を通じて収益力の向上を図ります。

連結決算の概況

●連結貸借対照表（要旨）

［単位：百万円］

科　目	当　期 2015年11月30日	前　期 2014年11月30日
資産の部		
流動資産	39,286	41,014
固定資産	55,036	56,065
有形固定資産	45,328	45,818
無形固定資産	897	1,219
投資その他の資産	8,810	9,028
1 資産合計	94,322	97,079
負債の部		
流動負債	41,674	44,066
固定負債	21,717	22,888
2 負債合計	63,391	66,955

［単位：百万円］

科　目	当　期 2015年11月30日	前　期 2014年11月30日
純資産の部		
株主資本	28,399	27,836
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	12,309	11,746
自己株式	△955	△954
その他の包括利益累計額	1,154	1,039
その他有価証券評価差額金	627	643
退職給付に係る調整累計額	526	395
少数株主持分	1,377	1,248
3 純資産合計	30,931	30,124
負債純資産合計	94,322	97,079

連結決算のポイント

1 資産

資産は94,322百万円となり、前期末と比較して2,756百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

2 負債

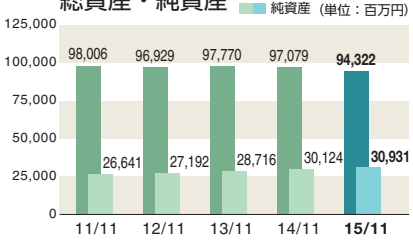
負債は63,391百万円となり、前期末と比較して3,563百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金と長期借入金（１年内返済予定を含む）の減少によるものです。

3 純資産

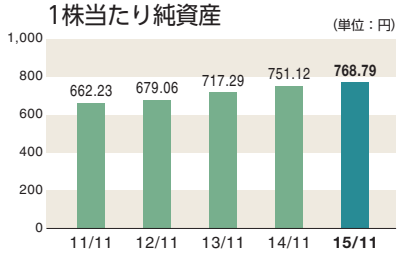
純資産は30,931百万円となり、前期末と比較して806百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

●財務ハイライト

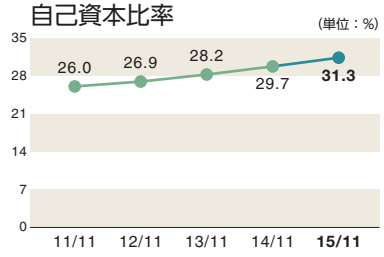
総資産・純資産



1株当たり純資産



自己資本比率



● 連結損益計算書（要旨）

［単位：百万円］

	科目	当期 2014年12月1日～2015年11月30日	前期 2013年12月1日～2014年11月30日
4	売上高	130,201	140,853
	売上原価	99,087	110,965
	売上総利益	31,114	29,888
	販売費及び一般管理費	27,466	27,374
5	営業利益	3,647	2,513
	営業外収益	532	689
	営業外費用	242	293
5	経常利益	3,937	2,909
	特別利益	116	129
	特別損失	104	333
	税金等調整前当期純利益	3,949	2,705
	法人税、住民税及び事業税	1,523	1,171
	法人税等調整額	294	4
	少数株主損益調整前当期純利益	2,132	1,529
	少数株主利益	204	107
	当期純利益	1,928	1,421

● 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

［単位：百万円］

	科目	当期 2014年12月1日～2015年11月30日	前期 2013年12月1日～2014年11月30日
6	営業活動によるキャッシュ・フロー	7,215	6,821
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,115	△2,996
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,105	△1,937
	現金及び現金同等物の増減額	993	1,887
	現金及び現金同等物の期首残高	9,601	7,713
	現金及び現金同等物の期末残高	10,595	9,601

4 売上高

主に仕入価格の下落を受けてLPガス、石油製品の販売価格が低下したことにより、売上高は130,201百万円（前期比7.6％減）となりました。

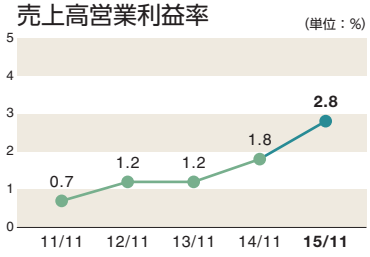
5 営業利益及び経常利益

売上原価の大幅な減少により売上総利益が増加し、営業利益は3,647百万円（前期比45.1％増）、経常利益は3,937百万円（前期比35.3％増）となりました。

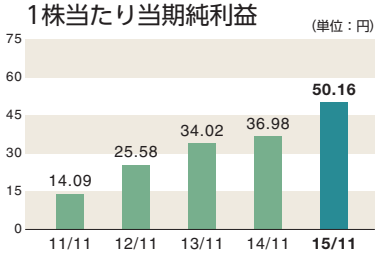
6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、7,215百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加によるものです。

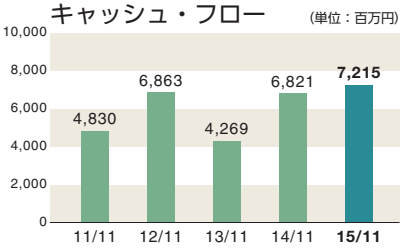
売上高営業利益率



1株当たり当期純利益



営業活動による
キャッシュ・フロー



第５次中期経営計画（平成26年11月期～平成28年11月期）の進捗状況

第５次中期経営計画のテーマ　より魅力あるグループへ

私たちは、現在、「より魅力あるグループへ」をテーマに掲げた第５次中期経営計画（平成26年11月期～平成28年11月期）の達成に向けて、以下の重点課題に取り組んでいます。

- □お客さま基盤の拡大
- □社員の活躍・成長の促進
- □次なる時代への事業展開
- □将来の成長を見据えたグループ経営の推進

これまでに実施した主な取組み

- **エネルギー事業の共同化**
  湖西、蒲郡エリアにおいて都市ガス、LPガスのサービス窓口を統合、営業活動の共同化を推進
- **「サーラのリフォーム」のさらなる展開**
  リフォームに精通した人材の育成、商品・施工・メンテナンスをセットにしたグループ共通商材の活用により、２年間でリフォーム関連の売上高72億円を達成
- **サーラプラザ店舗数の拡充**
  「サーラプラザ横浜青葉」（平成26年８月）、「サーラプラザ湖西」（平成26年９月）をオープン（全11拠点／平成27年11月末時点）
- **宅配水事業の拡大**
  サーラグループを挙げて販促活動に取り組み、２年間でお客さま数が3,474件増加（11,590件／平成27年11月末時点）
- **サーラカードを活用したお客さま基盤の強化**
  サーラクラブ会員数が本会員・家族会員あわせて２年間で8,554名増加（117,697名／平成27年11月末時点）
- **電力販売事業を開始**
  「サーラeエナジー株式会社」（当社関連会社）が、特定規模電気事業者（新電力）として電力事業に参入（平成27年１月）（35契約、5,803KW／平成27年11月末時点）
- **環境関連ビジネスの拡大**
  リサイクルプラント「明海工場」が操業を開始（平成27年２月）
- **輸入車販売における店舗数の拡充**
  「フォルクスワーゲン多摩」をオープン（平成27年11月）（フォルクスワーゲン、アウディ全12店舗／平成27年11月末時点）

平成28年11月期は、中期経営計画の最終年度となります。テーマである「より魅力あるグループへ」を実現するために、グループ一体となって、お客さまとの関係を強固なものとする基盤のさらなる整備や、新たな価値を提供する周辺事業領域の拡大と新しいサービス・事業への参入、社員がいきいきと活躍する環境づくり等、各重点課題への取り組みの成果を形にしていきます。

■「フォルクスワーゲン多摩」グランドオープン

サーラカーズジャパン株式会社は、平成27年11月に「フォルクスワーゲン多摩」をオープンしました。同社のフォルクスワーゲン正規ディーラーとしては、豊橋、岡崎、浜松、沼津、焼津、富士、小平、八王子に続く９店舗目の出店です。フォルクスワーゲンの販売において国内トップクラスの実績を誇る同社は、同店をオープンすることで首都圏での取組みをより一層強化し、事業基盤の強化・拡大を目指します。

また、同月「アウディ沼津」をリニューアルオープンしました。新しく生まれ変わった同店では、豊富な知識を持つアウディの専門スタッフがお客さまに快適で上質なカーライフをご提案し、静岡エリアでのさらなるお客さまの取り込みを目指します。

■電力販売を始めます

サーラグループの「サーラeエナジー株式会社」（当社関連会社）は、一般のご家庭・店舗のお客さまに向けて電力販売を開始します。サーラグループの様々な商品・サービスと電気を組み合わせることで、お客さま一人ひとりのライフスタイルに合わせた最適な料金プランをご提案します。

販売開始日　平成28年４月１日

対　象　中部電力、東京電力エリアのお客さま

▶ サーラグループの商品・サービスと“電気”を組み合わせてご利用いただくと、お得な割引制度が適用されます。

例えば…　**LPガス＋電気　⇒　LPガスの基本料金より100円割引**
LPガス＋電気＋宅配水＋サーラカード　⇒　LPガスの基本料金より500円割引

その他にも都市ガス（中部瓦斯（株））やケーブルテレビ（豊橋ケーブルネットワーク（株）、浜松ケーブルテレビ（株））等の商品・サービスと組み合わせることができます。

電気×sala

会社の概要及び株式の状況

（平成27年11月30日現在）

■ 商　　号　株式会社サーラコーポレーション

■ 設　　立　平成14年５月１日

■ 本社所在地　豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー

■ 資 本 金　80億2,500万円

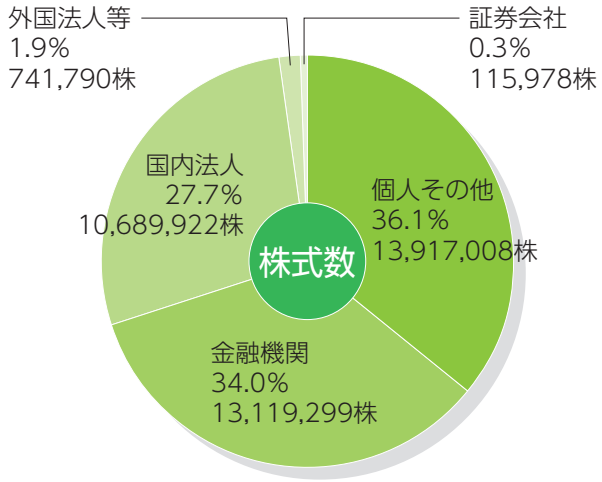
■ 証券取引所　東京証券取引所　市場第一部
名古屋証券取引所　市場第一部

■ 役　　員

代表取締役会長	中村捷二
代表取締役社長	神野吾郎
代表取締役専務	松井和彦
取締役	角谷　歩
取締役（社外）	一柳良雄
取締役（社外）	石黒和義
監査役（常勤）	原田保久
監査役（社外）	杉井　孝
監査役（社外）	村松奈緒美

■ 従業員数　2,741名（連結）

■ 所有者別株式分布



● 当社は自己株式1,754千株を保有していますが、上記分布から除いています。
● 比率は自己株式を控除して計算しています。

■ 発行可能株式総数 …… 120,000,000株

■ 発行済株式総数 …… 40,338,708株
（自己株式1,754,711株を含む）

■ １単元の株式数 …… 100株

■ 株 主 数 …… 3,883名

■ 大 株 主

株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
中部瓦斯株式会社	5,921	15.35
サーラコーポレーション従業員持株会	2,348	6.09
ガステックサービス共栄会	2,029	5.26
中部ガス不動産株式会社	1,833	4.75
三井住友信託銀行株式会社	1,823	4.72
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	1,560	4.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口４）	1,515	3.93
株式会社静岡銀行	1,495	3.88
株式会社三井住友銀行	1,197	3.10
株式会社みずほ銀行	957	2.48

● 当社は自己株式1,754千株を保有していますが、上記大株主から除いています。
● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

会社一覧

当社は中部瓦斯株式会社、サーラ住宅株式会社とともにサーラグループを形成しています。サーラグループ各社は、共通の基本理念のもと互いに連携し、お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開しています。

sala
サーラグループ

（株）サーラコーポレーション
連結子会社　20社
（会社一覧は下表をご覧ください。）

中部瓦斯（株）
電気・ガス［9540］
（株）ガスリビング中部、（株）ガスリビング浜松西部、サーラガス磐田（株）、サーラeエナジー（株）、中部ガス不動産（株）、サーラスポーツ（株）、（株）エス・アール・ピー

サーラ住宅（株）
建設［1405］
中部ホームサービス（株）、サーラハウスサポート（株）、エコホームパネル（株）

サーラコーポレーショングループ会社一覧

エネルギーサプライ＆ソリューション事業

事業内容　LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、リフォーム、エネルギー輸送、資産賃貸

事業エリア　愛知、静岡、岐阜、神奈川など１都11県

ガステックサービス（株）
サーラ物流（株）
グッドライフサーラ関東（株）
（株）リビングサーラ
サーラの水（株）
三河湾ガスターミナル（株）
（株）日興
神野オイルセンター（株）

カーライフサポート事業

事業内容　フォルクスワーゲン９店舗・アウディ３店舗（正規ディーラー）、車検・整備、オートリース

事業エリア　愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン（株）

ホスピタリティ事業

事業内容　ホテル事業、飲食店事業

事業エリア　愛知、静岡

ガステックサービス（株）

エンジニアリング＆メンテナンス事業

事業内容　都市インフラ整備、設備工事・メンテナンス

事業エリア　愛知、静岡、東京など１都３県

（株）中部
神野建設（株）
（株）鈴木組
（株）中部技術サービス
テクノシステム（株）
西遠コンクリート工業（株）

アニマルヘルスケア事業

事業内容　ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

事業エリア　愛知、埼玉、広島、宮城など１都２府15県

（株）アスコ
大和医薬品工業（株）

その他の事業

事業内容　自動車部品製造、割賦販売及びリース、情報処理業

事業エリア　愛知、静岡

新協技研（株）
サーラフィナンシャルサービス（株）
（株）サーラビジネスソリューションズ

株主優待のご案内

株主優待

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

対象

毎年11月末日現在において、500株以上所有の株主さま

内容

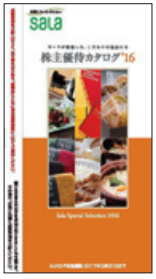
ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。

株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数	優待内容
500株以上　5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上	10,000円分の株主優待券

ご利用方法

株主優待券は、当社グループのガステックサービス株式会社が販売するガス機器、同社が運営するガソリンスタンドでの給油・洗車、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、同ホテル内のレストランでの飲食などにご利用いただけます。



株主優待カタログ'16

ご利用店舗がお近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただきます。

※上記内容は予告なく変更する場合があります。

株主優待商品のご紹介

株主優待カタログ'16では、全37の商品からお持ちの株主優待券の枚数に応じてお好きな商品をお選びいただけます。

商品例

「ツイストジャーオープナー」

固く締った頑固なフタもひとヒネリ。お年寄りや女性でも、調味料などのビンのフタが簡単に開けられます。

株主優待券500円分／１本（送料・消費税込）

「特製焼き菓子」

ホテルアークリッシュ豊橋特製の焼き菓子セットです。

株主優待券2,000円分／１セット（送料・消費税込）

「サーラの森づくりの苗木植樹」

ガステックサービス株式会社は、愛知県北設楽郡に位置する山林で社員参加型の緑化活動「サーラの森」づくりに取り組んでいます。

株主優待を通じて、緑化活動に参加してみませんか。

株主優待券500円分／苗木１本

株主メモ

株式についてのご案内

■ **事業年度**　12月1日～翌年11月30日

■ **定時株主総会**　毎年２月中

■ **基準日**　定時株主総会の議決権・期末配当　11月30日
中間配当　5月31日

■ **株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関**
〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目４番１号
三井住友信託銀行株式会社

■ **株主名簿管理人事務取扱場所**
〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

■ **郵便物送付先**
〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目８番４号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

■ **電話照会先**　**0120-782-031**

■ **取次窓口**
三井住友信託銀行株式会社　全国本支店

■ **公告方法**　電子公告（当社ホームページに掲載します）
http://www.sala.jp/
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関するお問合せ先

1．住所変更、単元未満株式の買取など、株式に関する各種お手続きは、口座を開設されています証券会社までお問合せください。
2．証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までお問合せください。
3．支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社までお問合せください。

生活に ファイン クオリティ

sala

お問合せ先

株式会社 サーラコーポレーション

総務部 総務グループ　☎0532-51-1182　E-mail：ir@sala.jp

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。